

モザイクコミック総集編



陰キャ 優等生の ビッチ化計画

私が黒ギャルに
堕ちたワケ

親友のみがわりになった私……
徹底調教がマヂ最高♡

優
等
生
の
陰
謀

★
★
ビ
ジ
ネ
ズ
化
計
画

私が黒ギャルに
堕ちたワケ

親友のみがわりになった私……
徹底調教がマヂ最高♥

私の名前は
川元雀
かわはつすずめ

引っ込み思案で
クラスでは全く
目立たないタイプ…

だけど、そんな
私にもたったひとり
親友がいる

とうやまみゆう
東山美夕：
今の学校生活が
楽しいのは
ミュちゃんのおかげ

そんなミュちゃんが
ある日突然、
学校一のイケメン
シローに告白された

本音を言えば
寂しい所もあるが
彼女に彼氏ができて
幸せになるなら私も嬉しい

ぜひ、
告白を受けなよと
後を押したんだけど…

それからすぐに
ミュちゃんの様子が
おかしくなった



今まで
大人しい方だった
ミュウちゃんが

突然、金髪に染め
ピアスや派手な格好を
するようになった

授業はサボりがちになり
夜な夜な繁華街で
遊んでいるとの噂も聞いた

まず間違いなく
シローの影響による
ものだろう



そう…
彼はミュウちゃんを
自身の性癖を満たす為に
利用していたのだ

絶対に許さない…
ミュウちゃんは
私が守らなきゃ…!



彼の過去を調べてみると
地味な女の子を派手に
ギャル化させるのが趣味で

何人もの女子が
同じような被害に
遭っていたらしい



あ、あ…
ダメ…ッ
入れちゃダメッ

いや…
いやあ…
ああああッ



そうして私は
シローのされるが
ままになっている…

が、我慢しなくちゃ
これもミュウちゃんの
ためだから…!!

ミュウちゃんを守るため
私はシローに直談判をした
私が身代わりになるから
ミュウちゃんと別れて下さいと――



大丈夫、
死にはしねーって

ズッ
ズッ
ズッ

それにどーせ
ハメてくうちに
気持ち良くなって
いくだろーからよお

ズッ

あああつ
ぐうう…
あつ、ああツ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

あー、だんだん
良くなってきたかも

こんな地味な奴が
いずれ誰もがドン引く
オワコンギャルに
堕ちると思うと

ヤッベ
ちよつと興奮
してきたわ

そ、そんな
やだあツ!

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

オワコンになんて
なりたくないい…
ギャルになんか
なりたくないよお…ツ



くくくつ、
別に俺は止めても
イイんだぜえ？

そしたら
お前の親友が
代わりに墮ちる
だけだからなあ

ぐうぐう…ッ



おらッ
そろそろ
出すぞッ！

このまま
中に出して
やっからなあ
ひやははは!!!



そ、そんなッ!?
だ、ダメ、中はッ!

あ、赤ちゃん
できちやうよおッ!!!

いーやー
だーねっ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

お前は俺の
言いなりなんだから
進んで受け入れ
ないとな

まあいずれは
自ら中●しをせがむ
クソビッチギヤルに
してやっから

ズキョ

ズキョ

そんなあ…
イヤだああ!!

うるせえっ!
黙って
受け入れろ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

ズキョ

そらっ!!

ひっ!?

ビクビク

ひいっ?!

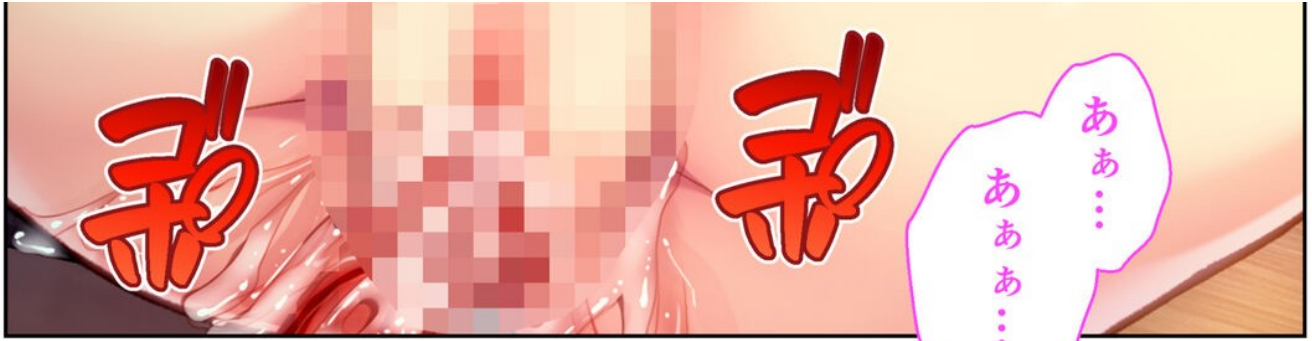


アッアッ

あああ

アッ

アッ

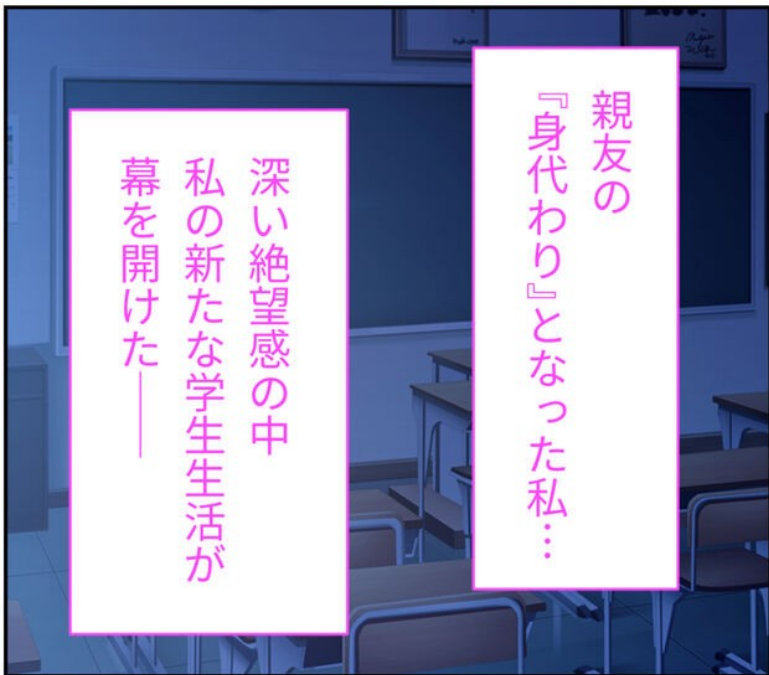


ああ…
あああ…



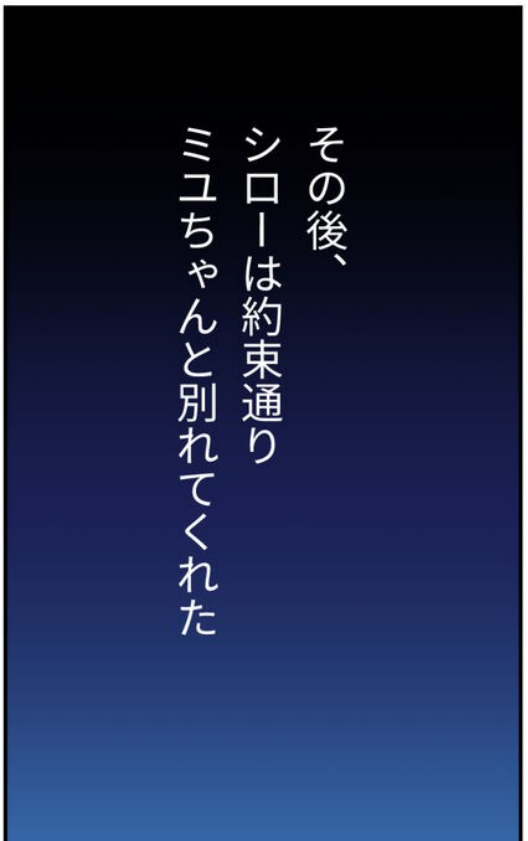
つーわけで
これからよろしくな
俺が呼び出したら
すぐに駆けつけろよ

約束守れなかったら
あいつがどーなるか…
くくっ、覚悟しとけよ



親友の
『身代わり』となった私…

深い絶望感の中
私の新たな学生生活が
幕を開けた――



その後、
シローは約束通り
ミュちゃんと別れてくれた

数日後

くくっ、
似合ってるじゃん
その格好

あ、あんまり
ジロジロ見ないで…
こんなの絶対変だから

ミユちゃんの
身代わりになった私は
紛うことなき
『金髪ギャル』へと
変貌させられていた…

いいから
さっさと舐めろよ

おっぱいも晒せよ、
どうせ下手なんだから

ポッ

ううう…
は、はい…ッ



う…う…うッ
は、恥ずかしい
よお…

こ、こんな場所で
おっぱいを
晒すだなんてえ

ほら、早く
しゃぶれよ

途中で止めたり
イかせられなかったら
ミユを日サロに連れて
肌を焼きに行くからな

わ、
わかりました…

ちゃんと
舐めますから…
んん…っ

ズ
ズ



どんなに嫌でも
絶対に止めちゃダメっ

我慢しないと
ミユちゃんが…っ
頑張らなきゃ…!!



んん…っ
んふんちゅぷっ
ぢゅくる…ッ

ぢゅりゅっ
ちゅりゅりゅう
くちゅぷう…ッ



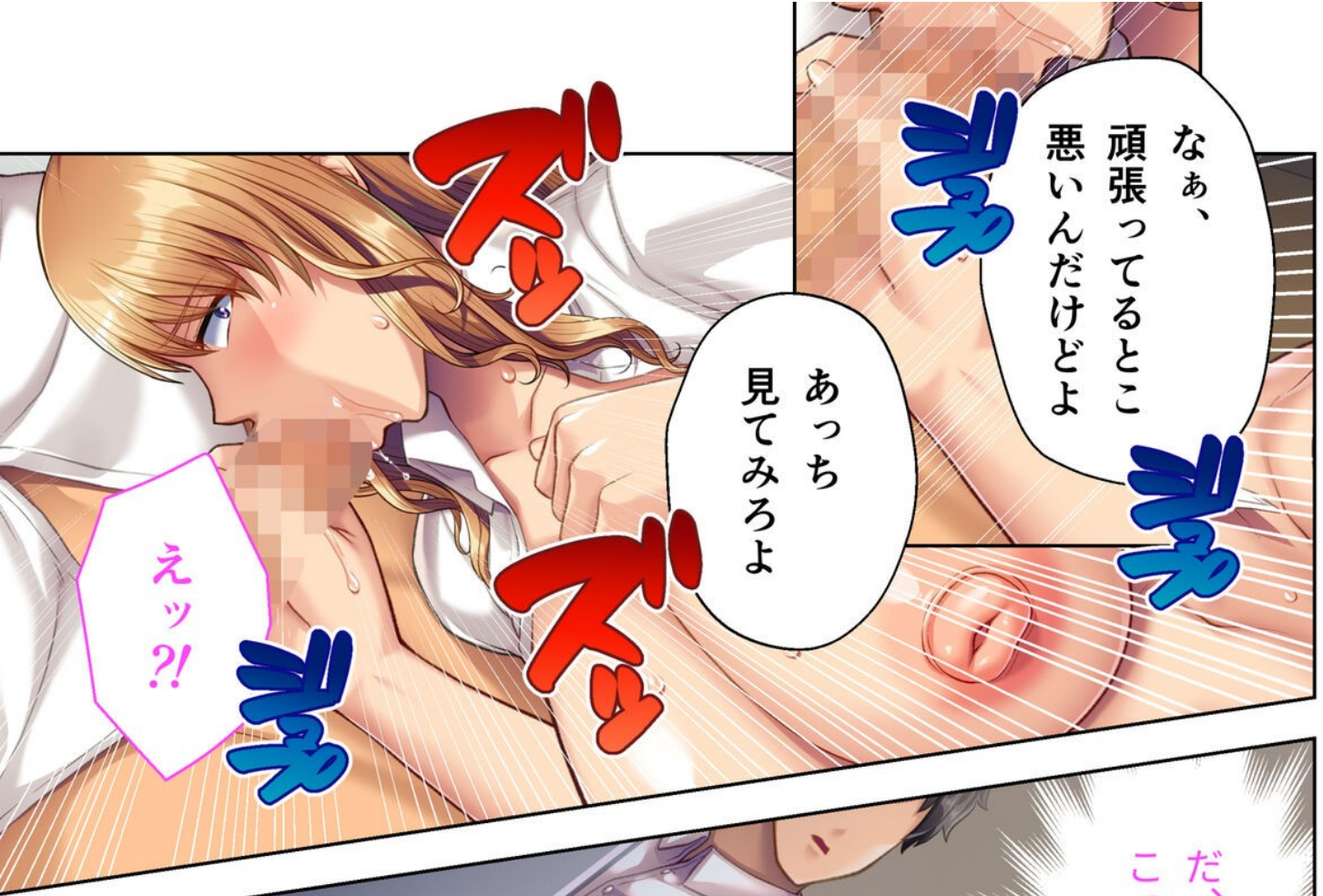
へえ、意外と
やるじゃん

実は舐めるの
初めてじゃねー
とか？



んぽっ…
んぷぽ…ッ!

んぢゅっ
んぷぷ…っ
ぷぷう……ッ



なあ、
頑張ってるよこ
悪いんだけどよ

あっち
見てみるよ

えッ?!



だ、だれか
こっち見てる…!!



ひやははは
マジで気付いて
なかったのか!?

さっきから
ずーっと
見られてたぞ

嘘…
そ、そんな
いやあ…っ

そろそろいくから
全部口で
受け止めるよお…ッ

ズキッ
ズキッ

んぢゆる…
ぢゅぞっ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

じゅぞぞぞ
ぞおおお…ッ

ひやははは!!!
おらっ、全部口で
受け止めるお

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

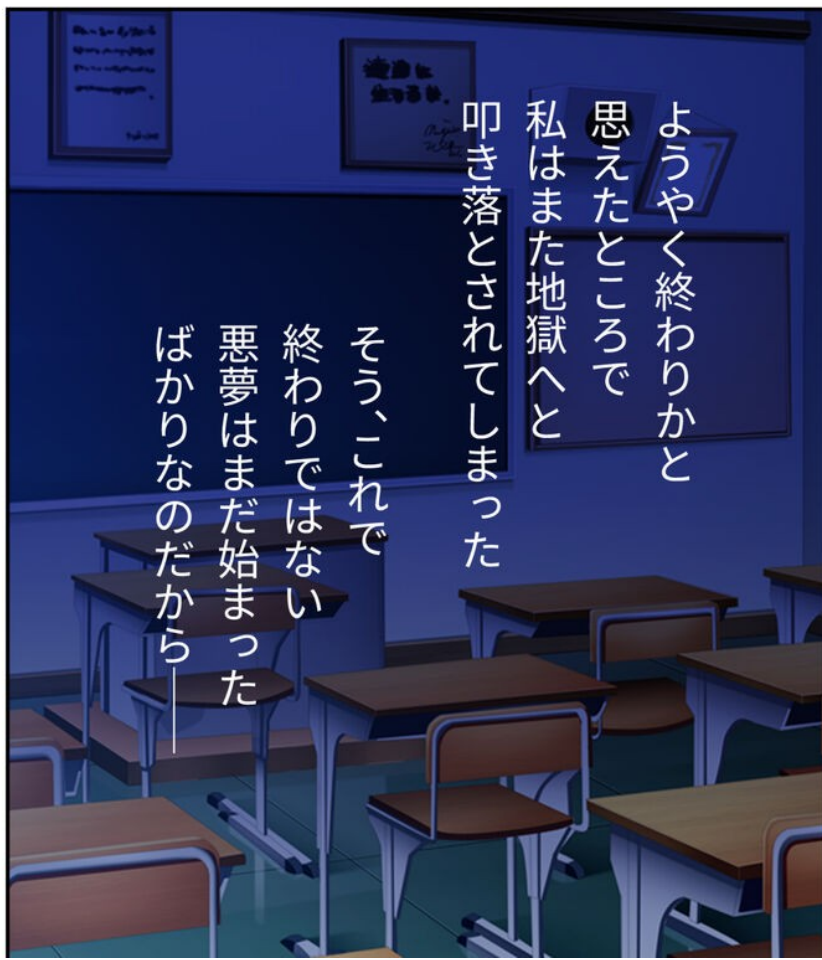
んんんっ?!

んんん~~~~うッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ



かわせきすめ
私は川元雀、
地味だけど
どこにでもいる
普通の女子学生だった



親友・ミュちゃんの
身代わりになったことで
私の生活は一変した――

ミュちゃんを陥れた
張本人・シローに、
金髪ビッチ女にされ
昼夜問わずセックスの日々…

それだけでは飽き足らず
男子トイレで衆人環視の中
オ●ニーしながら
立ちションさせられたり

見知らぬ男を
路地裏で手コキしたり
他人に私の痴態を
晒すよう命じてきた

シローの言葉を借りるなら
私は『都合の良いオ●ホ』と
化していた――



そしてついに私は
素行不良で生徒指導室に
呼ばれてしまったのだが…

や、やだっ
先生…!!

やめてっ
やめてえ…!!

シローの命令に従って
先生を煽っていたら
なんと先生が私に
襲い掛かってきたのだ…

そんな先生…
信じていたのに…

ううう…

はあっ、はあっ
川元、川元おっ！

そろそろ出すぞ
このまま
中にたっぷりと
出してやるっ！

IP
ン

IP
ン

ひうううう!!

IP
ン

IP
ン

ダメっ!
そ、それだけは
やめてえ……っ！

孕みたくないっ!
ママになんて
なりたくないっ！

ズ
ズ

ズ
ズ

止まって
止まってえ!!!

ビク
ビク

いやああああ!!!

うおお！
出すぞっ！
中に全部っ！

ガキ
孕んじまえっ！
このクソビッチ
ギャルがっ!!!

ビクビク
ビクビク
ビクビク

ああああ…
中でビクビク震えてる
膨らんできてるっ！

ダメっ、ホントにっ！
ホントにやめてっ！
本当に中は
ダメなのおおっ!!!

ズキ
ズキ
ズキ

やめてやめて
やめてやめて
やめてええっ!!!

中に出さない
でええ〜っ!!!

ズキ
ズキ



先生、
出ていくのは
早いっすよ

シロー?!
な、なんで
お前がここに



はあ...
はあはあ...

ヒッ

ヒッ



この動画を
ばら撒かれたく
なかったら...

わかってます
よね

確固たる証拠を
握られているからか
先生は何も言い返せない
最初からシローは
先生を嵌める気だったのだ...
がっくりと項垂れる先生を
尻目に私はシローに連れられ
教室を後にするのだった



く、
くそお...



シローは
生徒指導の先生を
味方につけたことで

さらにやりたい
放題となった

私の髪は
ド派手な銀色に染められ
肌は日焼けサロンで
何度も焼かれてしまった
それだけではない
シロー以外の男たちとも
毎日、行為を強要され
所構わず犯●れ続けた

その身も、心も
黒くてクサくて…
ケバいビッチな
ギャルへと
堕とされていく



ミュちゃん
しっかり聞いてね
今、私を
ハメてるのはあ…♡

ズキ

ズキ

もうやめてっ
電話切るよ…っ



ダメえツ！
絶対ダメえツ！
最後まで聞かねえと
絶交だしっ！

ズキ

ズキ

気持ち良すぎて
イギ狂いそお…ッ



せっかく心配して
電話してきてくれた
ミュちゃんに対しても

ズキ

ズキ

んあ、おお
はああっ…!!!

ズキ

さらなる羞恥と
快感を求めて
セックス実況を
してしまう始末で

ズキ

んおんおんおん

「親友に見せつける」
という背徳行為…

こんなに歪み切った関係…
最高にイカれているが故
その心理的効果は絶大だった

ねえ、シローお願い
記憶がなくなるくらい
激しくガン突きして
欲しいのお…ッ

くくくっ
イイぜえ…
自ら求めてくる
なんてなあ

少しでも冷静になれば
嫌なことを思い出してしまっ
快感に飲まれれば
全てを忘れ去ることができる

二人の液体で汚れたモノを
私は躊躇なく頬張るのだった—



次の日、
私はさらなる快感を求めて
男子生徒百人以上の
肉●器にされていた――

はあ、はあ
うえええ…ツ
はひい…
はあああ…



あーあ、肉が
ビロンビロンに
伸びちまってん
じゃねーか

ま、今日だけで
百人以上を
相手にしたんだ
当然っちゃん
当然だよな



ここまでされて
感じちゃうなんて…ツ
嘘…ぜ、絶対信じない…

ビッチじゃない…
私は…私は…
あああ…ツ

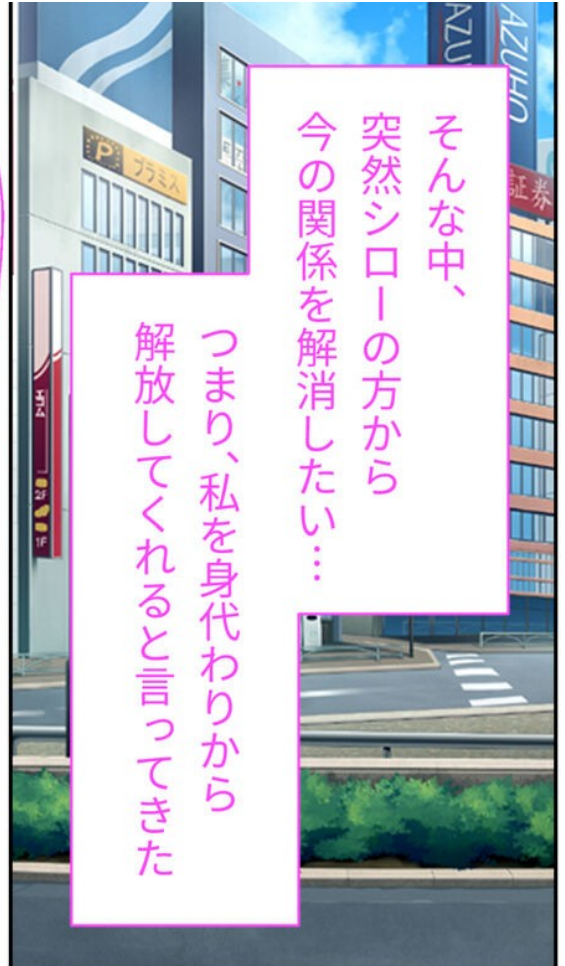
最後の砦となる
私の精神も
もはや限界に
近付きつつあった



え？嘘…
本当に…？

いやー、散々お前を
墮とそうとしたのに
未だ靡かないだろ？

だからもう
ギブアップだよ
ギブアップ！



そんな中、
突然シローの方から
今の関係を解消したい…

つまり、私を身代わりから
解放してくれると言ってきた



てか

もっと喜ぶかと
思ったんだけどな
願ったり叶ったり
じゃないの？

いや、それは
そうだけど…



くくく、
でもよお…

今日は最後の
思い出として
一発やらせてくれよ

日焼けサロンで
やるとか乙だろ？



ハキ

くっ、
きゅん…ッ

ハキ

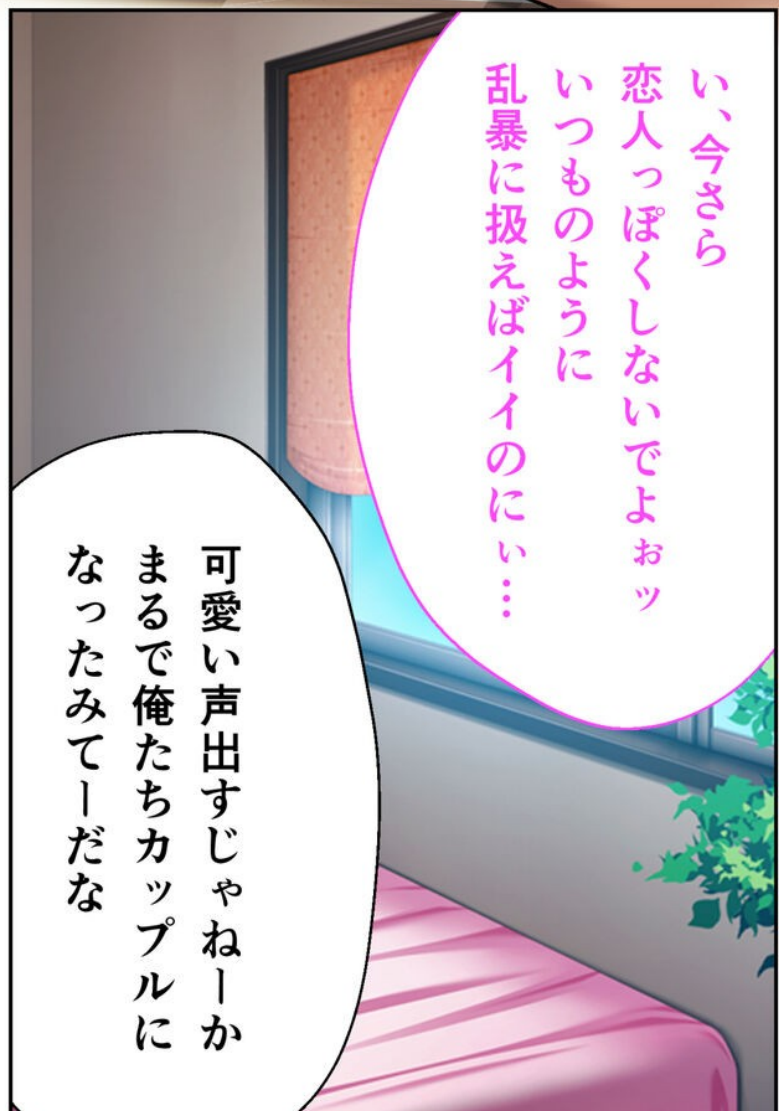
痛くないか？
体勢も辛かったら
無理せず言えよ？



やああッ♥
何コレ…
いつもと違う
優しい動きい…ッ

クキ

クキ



い、今さら
恋人っぽくしないでよおッ
いつものように
乱暴に扱えばイイのにい…

可愛い声出すじゃねーか
まるで俺たちカップルに
なったみてーだな

ダメえ、
これで終わりなんて
死んでもイヤあッ！

は
これからも
毎日のように
ハメ倒してよおッ♡

おいおい
どーした

いいのかあ？
お前は大事な
親友のために
頑張ってきたんだろ

ぐひひっ
あんな奴
もうどーだって
いいしい

むしろイラつくだけっ！
私はパコレりや
それでおっけーでーすう

あうんッ♡

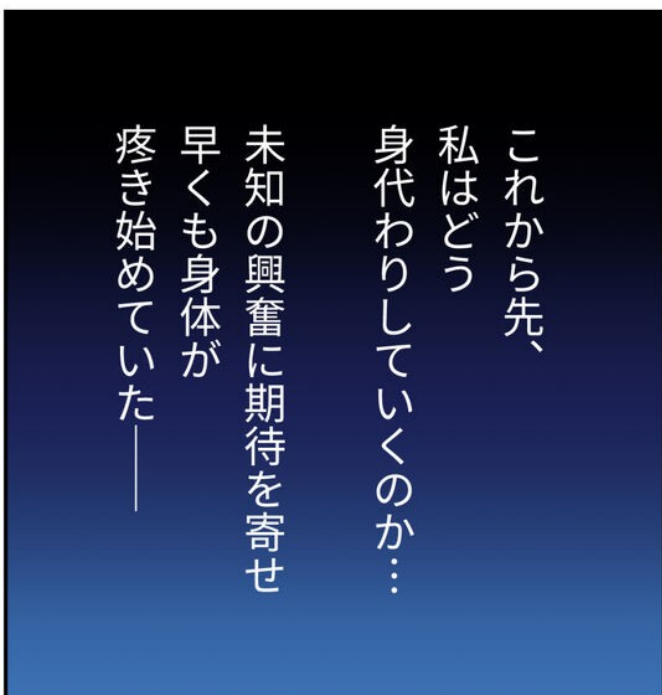
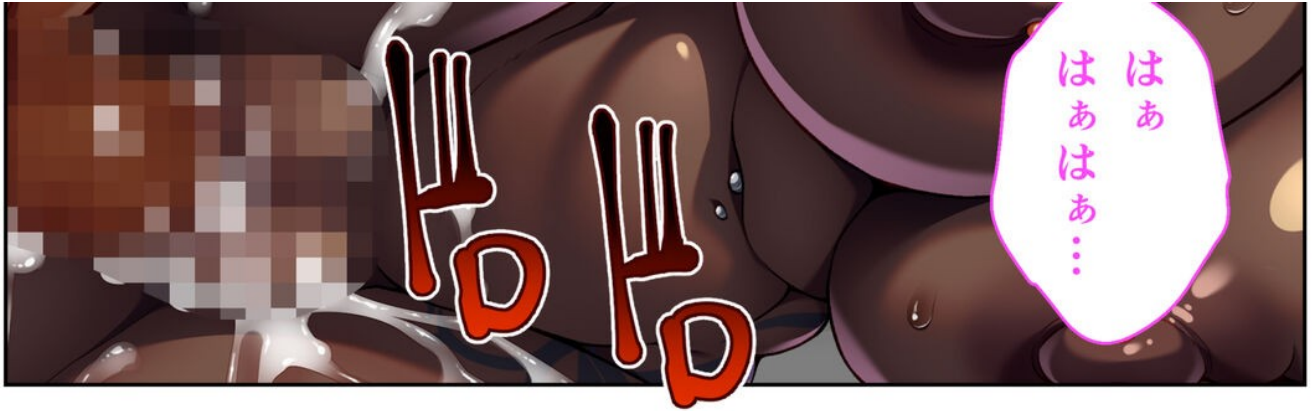
ド
チュ



あまあま

アムアム

アムアム



元々は親友のミュちゃんを
助けるために行った身代わり…
——完全に欲望のタガが
外れてしまった…

容姿もさらに派手になり
昼夜問わずハメを外して
男漁りを続けていく…

イグッ！イグッ！
んおおおおお!!!

私の絶頂声が繁華街に響き渡り
それがまた新たな男を呼び寄せる
心身がズタボロになるまで
激しく犯●れ続けるのだった——

キタキタキタあ♡
イクッ！また
イツちまうう…ッ！

ズタボロ


あくる日――

久々に学校へ
登校した私は、
ミュちゃんに呼び出され
図書室へと向かった

あ…
す、雀ちゃん…
久しぶりだね…

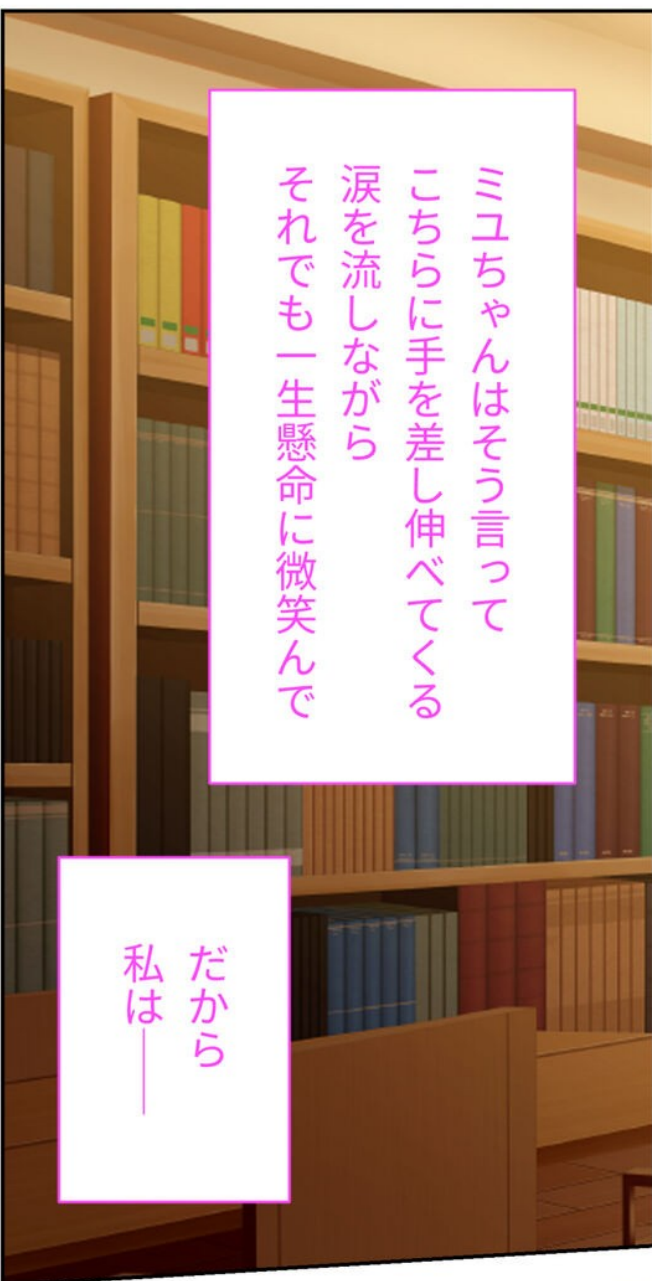
ミュちゃんは、
こんな姿になった私を
未だに雀ちゃんと呼んでくれる

以前と変わらない
反応を示され、
ズキリと心が痛んだ



ねえお願い…
以前の雀ちゃんに
戻ってっ！

私はずっと
一緒にいるからっ！
だって私たち…
親友だもの



ミュちゃんはそう言って
こちらに手を差し伸べてくる
涙を流しながら
それでも一生懸命に微笑んで

だから
私は—



おえっっ?!

ヤッ

くひひっ
ど〜よお☆
とんでもねえ
クサさっしょ

ハエ

ハエ

中●しされ
まくってるうちに
ハエすら逃げる激臭に
なっちったんだあ

は
おええッ
く、クサイ…
酷いよおッ

は
雀ちゃん、
もう止めてえ…ッ!

うるせえ、
目え逸らさず
しっかり見ろしい

こんなに
汚くなったのは
ミュちゃんのせい
なんだからあ☆

そう、本来はミュちゃんが
なるべき姿だったのだ
顔を背けるなど
許されるはずがない

私が代わりにどれだけ
辛い思いをしてきたのか
その身を以って味わう
必要があるのだから――



雀ちゃん
ごめんなさい…

私、何にも
知らなくて…
シロー君がそんな人
だったなんて…

きゃははっ☆
別に謝って
欲しいなんて
思っただけだし

あいつのお陰で
今は超はっぴい
毎日イキっぱで
アへりまくり☆



ひびひびっ

ガッガッ…



おらっ!
私のアソコみたい
にクッサいニオイ漂わせて
恥晒して生きろっ!!!

ズキ

ズキ

ぐもっ
もぐぐっ!?

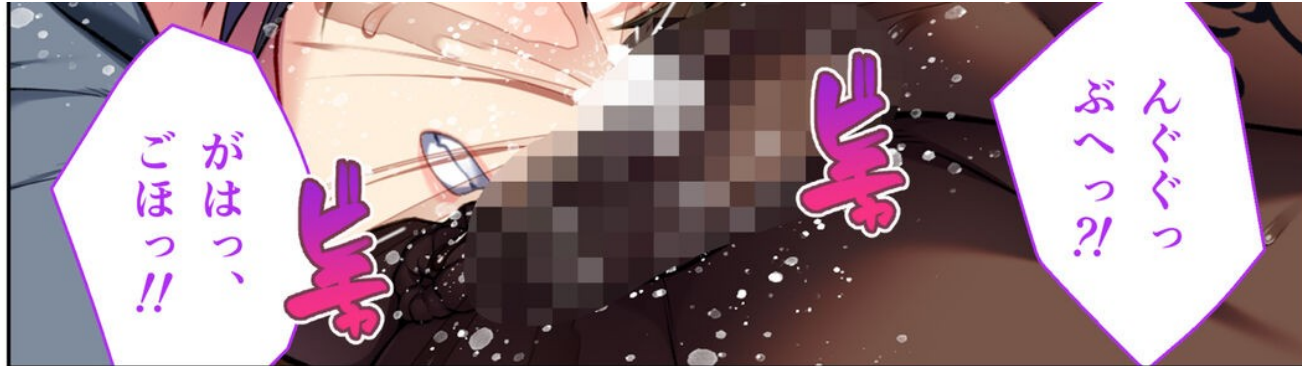


おぼおぼおぼ

クワ

クワ

アアアア



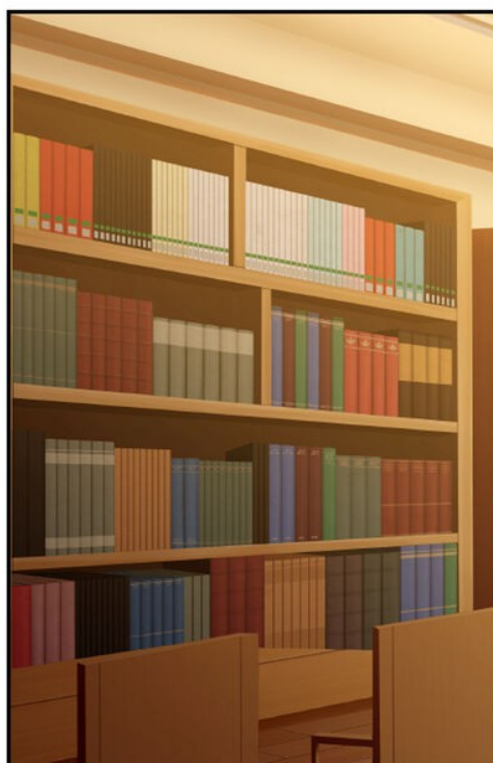
がはっ、
ごほっ!!

んぐぐっ
ぶへっ?!



安心して、ミュウちゃん
私が徹底的に
墮としてあげっから☆

だって二人は、
親友だもんね…
ふふふ、あはっ
きゃははははっ



最高だ
最高に気分が良い
全身に
突き抜けるような
快感が駆け巡っていた

す、雀ちゃん…
何これ…ッ
この人たちは
いったい…

ドチゅ

ミユちゃんが
親友に戻りたいって
言うからさあ

その願いを叶えて
あげようと思ってえ
マヂ優しいっしょ？

ドチゅ

ヒョッ
ヒョッ

それに
シロー君まで…
どうして…

ズッ

んふっ、知りたい？
ミユちゃんの知らないところで
シローとハメまくってたんだよっ

ズッ

そんでもって
こーんなクソビッチに
墮とされたの♪
ね、シロー？

…ああ

私の問いかけに、
シローは覇気のない様子で頷いた
もはやシローとの立場も逆転…
今は私が快楽を得るための道具として
彼を酷使しているのである

ひ、酷い…
雀ちゃんも…
シロー君も…

私を騙してた
なんて…
ううう……

ミュちゃんの代わりとなって
私がどれだけ耐え抜き
シローの行為を受け入れてきたか
きつと今の彼女には分からない

今のままでは
真の『親友』とは言えない
やはり互いに分かり合える仲
対等な立場となる必要がある

だから、私は…
ミュちゃんを墮としてやるのだ——



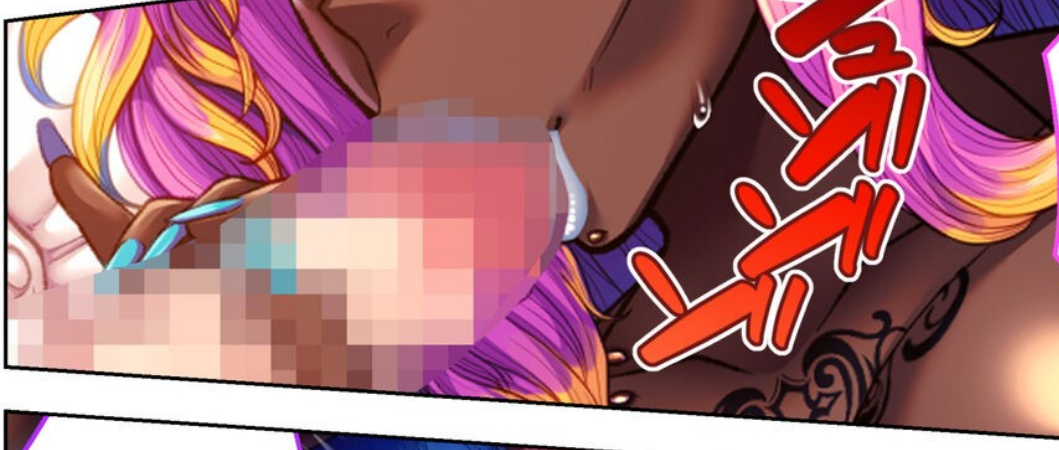
んじゅっ、んぐぽおおっ…
ほんぢゆるるうう~~~~ッ

ニョム
ニョム
ニョム



ぐひひっ、そんなじゃ
デカくてクツセえの
頂きまあす

ジュ
ジュ
ジュ



ずりゅもっ
ずももおく~~~~ッ!

ジュ
ジュ
ジュ



ひいいい…ッ!
や、止めてえッ!!

ジュ
ジュ
ジュ

見せつけないでえッ!
き、気持ち悪いよおッ



んぼっ、
んべええッ♡

あ~~~~
濃厚チ●汁
うんめえッ



どお?
ミユちゃんも
味見してみるう?

い、嫌だよッ!
そんな汚いの…
絶対無理ッ!!

最初はそうだよねえ
でも、好きとか嫌いとか
関係ねーんだし

どんなに嫌がっても
墮とされ続けるの…
ミユちゃんの人生
もー終わりってこと♡



うええ…
やだあッ
そんなのイヤだあッ

親友やめるうっ!
絶交するうっ!
だからお願い:
もう許してええッ!!

ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

んぶぶっ、んぽおおッ！
口とアソコで
ダブルピストンううッ!!!

んぽ
んぽ

もっど
もっどおお…
んおおおッ！

ズン

ミュちゃんに
見せつけんのおっ
んほひいいッ☆

ズン

ズン

ズン

ズン

ぶっ刺されて
頭イかれるうう…
んぐっ、ぶぶっ
ふぶぶううッ!!!

ああ、楽しい
気持ちイイ—

ヤバい—
ヤバいヤバい—



ぐひゃひゃひゃ
墮ちんの
ちよ〜楽しっ!
クツソパねえっ!

ズッ

ヒッパ

ヒッパ

ズッ

ヒッパ

ズッ

ゲロやばっ
ちよーコーファン
するううッ!

いやああつ
雀ちゃん

もう
止めてえ〜ッ!

ハッ

ヒッパ

ハッ

ヒッパ

ヒッパ

んごおおおッ!
イグイグイグイグッ
墮ちるっ
がわっぢやううう!

激クサ底辺鬼
ゴリマンバギヤルうっ
ガチイキしてさらに
墮ちてっぢやううう!!!

ハッ

ヒッパ



あ
あ
あ
あ
あ

ジュジュ
ム

カ

カ

パッパッ



おおッ
やっべ…

ドド

ドド

んぐっ…



それから、
ミュちゃんも
周りの男たちに
ガン掘りされ

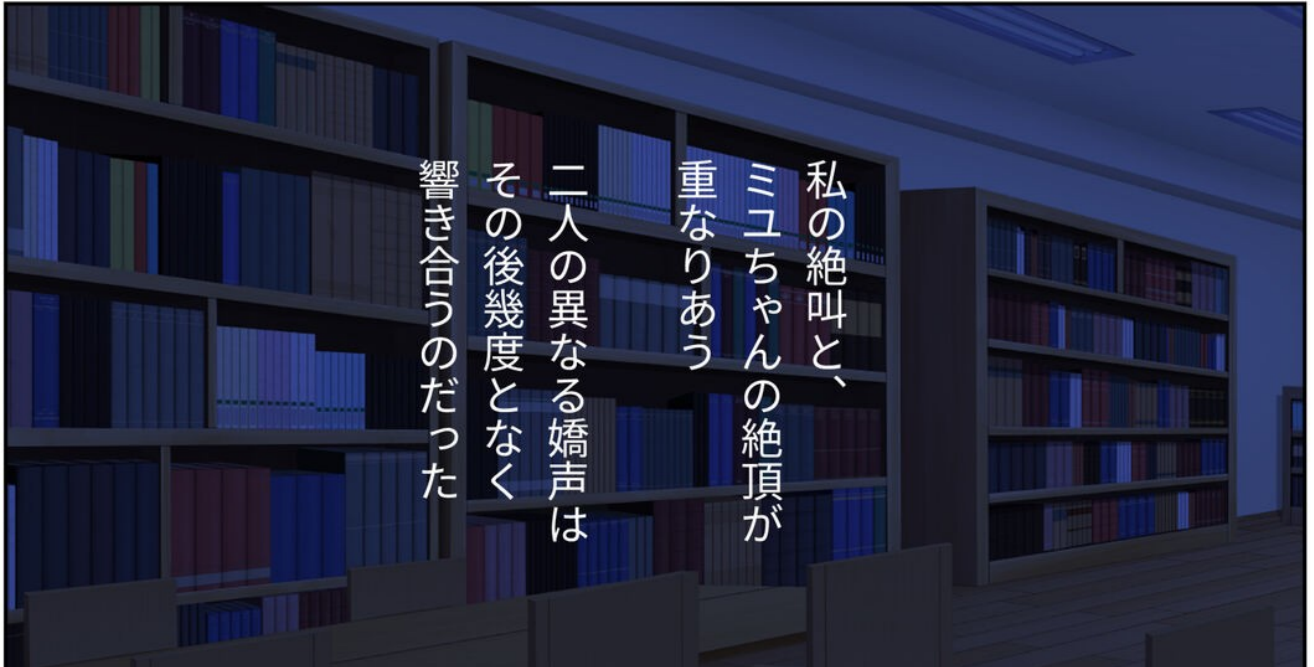
最高の
『処女喪失ショー』を
愉しみながら、
私自身も快楽を貪った

親友が犯●れてるとこ
見ながらイクイクッ！
イツぐううウウうう！

ドド

ドド

ドド



私の絶叫と、
ミュちゃんの絶頂が
重なりあう
二人の異なる嬌声は
その後幾度となく
響き合うのだった

それから数か月後――

ここは某撮影スタジオ
私とミュちゃんは
折り重なるように身体を
晒しあった

私たちの視線の先には
モノをギンギンに反り立たせた
数百人の男たちが待機していた

これからこの大人数と
乱交AVの撮影を行うのだ

はああ
ビッチって最高だよお
ファ●クがこんなに
楽しくて気持ちいいなんて

これもぜーんぶ
雀ちゃんのお陰だね

うん、だって
二人は親友だもんっ

今日もいっぱい
楽しもうねえ♡

終わり



大人の禁SEXY絵本

©アパタイト